

キー コ ン セ プ ト 1 人 間 関 係	1.1 家族 キーアイデア 成長とは、自分と他者に対する責任をとれるようになることを意味する 学習者ができるようになること <ul style="list-style-type: none"> ・成長する中で生じる、自分と他者に対する新たな責任を明らかにしたり調べたりする (知識) ・成長するにつれ自分の世界や感情は家族の枠を超えて広がり、友人や仲間が非常に重要になることを認識する (態度) ・新たな責任や人間関係を見極め、受け止める (スキル)
	キーアイデア 親/保護者と子どもの間で衝突や誤解があることは、特に思春期では当然で、たいていそれらは解決可能である 学習者ができるようになること <ul style="list-style-type: none"> ・親/保護者と子どもの間でよく起こる衝突や誤解を列挙する (知識) ・親/保護者との衝突や誤解を解決する方法を説明する (知識) ・親/保護者との衝突や誤解があることは、特に思春期では当然で、たいていそれらは解決できるということを認識する (態度) ・親/保護者との衝突や誤解を解決するための手段を使う (スキル)
	キーアイデア 愛情、協力、ジェンダー平等、相互ケア、互いに尊重することは、健康的な家族の機能や人間関係において重要である 学習者ができるようになること <ul style="list-style-type: none"> ・健康的な家族の機能の特徴を明らかにする (知識) ・なぜそれらの特徴が健康的な家族の機能において重要なのかの根拠を示す (態度) ・健康的な家族の機能に対する自分の貢献を見極める (スキル)
	1.2 友情・愛情・恋愛関係 キーアイデア 友だちは他者にポジティブにもネガティブにも影響を与えうる 学習者ができるようになること <ul style="list-style-type: none"> ・いかにして友だちがポジティブにもネガティブにも影響を与えうるのかを比較する (知識) ・友だちは他者の行動にポジティブにもネガティブにも影響を与えうることを認識する (態度) ・友だちからネガティブな影響を受けることを防ぐ方法を実際にやってみる (スキル)
	キーアイデア 人間関係にはさまざまな形がある 学習者ができるようになること <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係のさまざまな形を明らかにする (知識) ・愛情、友情、夢中になるといった感情と、性的魅力を感じることを区別する (知識) ・親密な人間関係が時としてどのように性的なものになるのかを議論する (スキル) ・さまざまな人間関係の形に伴う感情をうまく扱う方法を実際にやってみる (スキル)
	キーアイデア 恋愛関係は力の不平等や差異(ジェンダー、年齢、経済的立場、社会的地位、健康状態など)に強く影響されやすい 学習者ができるようになること <ul style="list-style-type: none"> ・力の不平等や差異がいかに恋愛関係にネガティブに影響を及ぼすかを分析する (知識) ・ジェンダー規範やジェンダースtereotypeがいかに恋愛関係に影響を及ぼすかを再認識する (知識) ・人間関係における力の不平等や差異が有害になりうることを認識する (態度) ・人間関係における力の平等やバランスに問題意識をもつ (スキル)

1.3 寛容・包摂・尊重

キーマイデア 人との差異(HIV、妊娠や健康の状態、経済的立場、民族性、人種、出自、ジェンダー、性的指向、ジェンダーアイデンティティ、その他の差異など)を理由にしたスティグマや差別は、人の尊厳を否定し、ウェルビーイング(幸福)に有害で、人権侵害である

学習者ができるようになること

- ・スティグマ、差別、偏見、先入観、不寛容、排除の概念を再認識する(知識)
- ・人の性と生殖に関する健康と権利におけるスティグマや差別がもたらす結果を調べる(知識)
- ・すべての人がスティグマや差別を受ける人たちを守る責任があることを認識する(態度)
- ・包摂、非差別、多様性の重要性を的確に認識する(態度)
- ・スティグマや差別を経験した際にサポートを探し出す(スキル)
- ・包摂、非差別、多様性の尊重のために声を上げる(スキル)

1.4 長期の関係性と親になるということ

キーマイデア 結婚や長期の関係性によって発生する多くの責任がある

学習者ができるようになること

- ・結婚や長期の関係性の主な責任をまとめる(知識)
- ・良好な結婚や長期の関係性の主な特徴について再認識する(知識)
- ・結婚や長期の関係性における愛情、寛容、平等、尊重の重要性を認識する(態度)

キーマイデア 人はさまざまな形で親になり、親になることは極めて多様な責任を伴う

学習者ができるようになること

- ・親の責任を列挙する(知識)
- ・おとなが親になりうるさまざまな方法を比較する(意図した/意図しない妊娠、養子縁組、里親、生殖技術の使用、代理親など)(知識)
- ・障がいのある人やHIVと共に生きる人も含め、それが制限になることなく、すべての人が親になるかならないか、なるのであればいつなるのかについて、本人が決めるべきであることを主張する(態度)

キーマイデア 児童・早期・強制婚(CEFM)や意図せずに親になることはネガティブな社会的、健康的な結果をもたらさう

学習者ができるようになること

- ・CEFM や意図せずに親になることにおける社会的、健康的な結果を説明する(知識)
- ・CEFM や意図せずに親になることは有害であることを認識する(態度)
- ・もしCEFM や意図せずに親になることに悩んだ際にサポートを探し出す(スキル)

2.1 価値観、セクシュアリティ

キーマイデア 自身の価値観、信念、態度を知り、それらがどのように他者の権利に影響するかを知り、それらのための闘い方を知ることは重要である

学習者ができるようになること

- ・セクシュアリティと生殖の健康のさまざまな問題に関して自分の個人的価値観について説明する(知識)
- ・個人的な価値観がその人の意思決定や行動にどう影響するのかを例示する(知識)
- ・個人的な価値観は他者の権利にどのように影響しうるかを明らかにする(知識)
- ・自分と異なる価値観、信念、態度に寛容で、尊重することの重要性を認識する(態度)
- ・自身の個人的価値観を守る(スキル)

価値観

<p>・ 人 権 ・ 文 化 ・ セ ク シ ュ ア リ テ ィ</p>	<p>2.2 人権・セクシュアリティ キーアイデア すべての人の人権は、性と生殖に関する健康に影響を与える権利を含んでいる 学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性と生殖に関する健康に影響する人権を説明する（知識） ・これらの権利に影響する地域や国の法令について議論する（知識） ・これらの権利の侵害を認識する（知識） ・社会には、人権侵害により脆弱な人々がいることを認識する（態度） ・性と生殖に関する健康にかかわる者も含め、すべての人の人権を尊重することをはっきりと示す（スキル） <p>2.3 文化、社会、セクシュアリティ キーアイデア 社会的、文化的、宗教的要因は、その社会の中でどのような性的行動が受け入れられ、受け入れられないかに影響を与え、それらの要因は時とともに変化している 学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的・文化的規範を明らかにする（知識） ・性的行動に影響する社会的・文化的規範と、またそれが時とともにどのように変化してきたかを調べる（知識） ・社会的・文化的規範は時とともに変化しうることを認識する（態度） ・社会の中で性的行動に影響している社会的、文化的規範に問題意識をもつ（スキル）
<p>キ ー コ ン セ プ ト 3 ジ ェ ン ダ ー の 理 解</p>	<p>3.1 ジェンダーとジェンダー規範の社会構築性 キーアイデア ジェンダー役割やジェンダー規範は人生に影響する 学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー規範がどのようにアイデンティティや欲望、習慣、行動を形づくるかを明らかにする（知識） ・ジェンダー規範がどのように有害になりうるか、どのように人の選択や行動にネガティブな影響を及ぼしうるかについて調べる（知識） ・ジェンダー規範についての信条は社会によってつくられたものであると認識する（態度） ・ジェンダー役割やジェンダーに基づく期待は変化しうることを認識する（態度） ・家や学校、コミュニティにおけるジェンダー役割に対してよりポジティブな影響を及ぼすための行動を日々実践する（スキル） <p>キーアイデア 恋愛関係はジェンダー役割やジェンダーステレオタイプによってネガティブな影響を受けることがある 学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恋愛関係におけるジェンダー役割やジェンダーステレオタイプの影響（男らしさと女らしさに関係する両方の規範どちらも）を分析する（知識） ・人間関係における虐待や暴力が、どのようにジェンダー役割やジェンダーステレオタイプと強く結びついているかを例示する（知識） ・人間関係における有害なジェンダー役割やジェンダーステレオタイプの影響を認識する（態度） ・人間関係の中のジェンダー役割やジェンダーステレオタイプに問題意識をもつ（スキル） <p>3.2 ジェンダー平等、ジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアス キーアイデア ジェンダーステレオタイプやジェンダーバイアスは、男性、女性、そして多様な性的指向およびジェンダーアイデンティティをもつ人々が受ける扱いと、かれらにとって可能な選択肢に影響する 学習者ができるようになること</p>

- ・男性、女性、多様な性的指向およびジェンダーアイデンティティをもつ人々をどのように表現するかを規定する社会規範を再認識する（知識）
- ・あらゆる形のジェンダーバイアスを例示する（知識）
- ・すべての人が平等に扱われることの重要性を認識する（態度）
- ・ジェンダー規範に従わない者に対する偏見は、健康を含むかれらの意思決定の能力にネガティブな影響を与えうることを認識する（知識）
- ・ジェンダーバイアスにとらわれずに人と付き合うさまざまな方法を実際にやってみる（スキル）
- ・自分の価値観が信条やジェンダーバイアスにいかに関与しているかを省察する（スキル）

キーアイデア ジェンダー平等は性的行動や人生設計についての平等な意思決定を促進する
学習者ができるようになること

- ・性的関係におけるジェンダー平等の特徴を説明する（知識）
- ・ジェンダー役割が、性的行動や避妊具の使用、人生設計にどのように影響するか列挙する（知識）
- ・より公平なジェンダー役割がより健康的な性的関係にどのように貢献するか分析する（知識）
- ・なぜジェンダー平等がより健康的な性的関係の一部なのかその正当性を主張する（態度）
- ・ジェンダー平等に基づく関係を構築する（スキル）

3.3 ジェンダーに基づく暴力

キーアイデア おとな、若者、権威ある立場にある人々によるあらゆる形のジェンダーに基づく暴力は、人権侵害である

学習者ができるようになること

- ・親密なパートナーからの暴力やレイプを含め、性暴力やジェンダーに基づく暴力はすべて、その人が性的欲望をコントロールできないという問題ではなく、力と支配による犯罪であることを再認識する（知識）
- ・ジェンダーに基づく暴力に気づいてジェンダーに基づく暴力を減らすためのさまざまな具体的方策をまとめる（知識）
- ・暴力の傍観者や目撃者、発見者は、介入するため何らかの安全な方法をとることができること、そして、かれらもまた、暴力の影響を受けると感じるかもしれないことを認識する（知識）
- ・ジェンダーに基づく暴力は、おとなや権威ある立場にいる人々、若者によってもなされる可能性があり、それは常に不当な行為であることを認識する（態度）
- ・ジェンダーに基づく暴力の予防やジェンダーに基づく暴力のサバイバー [被害を受けた経験を持ち、乗り越えた／乗り越えようとする人] をサポートする、信頼できるおとなやサービスにアプローチするさまざまな方法を実際にやってみる（スキル）

4.1 暴力

キーアイデア 性的虐待、性暴力、親密なパートナー間の暴力、いじめは人権侵害である
学習者ができるようになること

- ・いじめ、心理的暴力、身体的暴力、性的虐待、性暴力、親密なパートナー間の暴力それぞれについて比較対照する（知識）
- ・おとな、若者、力のある立場の人による、性的虐待、性暴力、親密なパートナー間の暴力・いじめは、決して被害者が悪いのではなく、常に人権侵害であることを認識する（態度）
- ・性的虐待、性暴力、親密なパートナー間の暴力、いじめについて、どのように通報すればよいかをはっきりと示す（スキル）
- ・性的虐待、性暴力、親密なパートナー間の暴力の予防や、いじめのサバイバーをサポートできるようなサービスや信頼できるおとなにアプローチするさまざまな方法を実際にやってみる（スキル）

暴力と

<p>安全確保</p>	<p>4.2 同意、プライバシー、からだの保全</p> <p>キーアイデア プライバシーと、からだの保全の権利を誰もがもっている 学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーの権利、からだの保全の権利の意味を説明する（知識） ・プライバシーとからだの保全の権利を誰もがもっていることを認識する（態度） ・プライバシーとからだの保全の権利についてどう感じるかを表現する（スキル） <p>キーアイデア 誰もが、性的な行為をするかしないかをコントロールする権利をもち、またパートナーに積極的に自分の意思を伝え、相手の同意を確認すべきである 学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同意とは何かを明らかにし、それが性的意思決定に密接にかかわることを説明する（知識） ・性的同意を伝え、受け止めることの重要性を認識する（態度） ・性的行動における個人の境界線に関して、同意する、および同意しないを表現する（スキル） <p>4.3 情報通信技術（ICTs）の安全な使い方</p> <p>キーアイデア インターネット、携帯電話、ソーシャルメディアは望まない性的扱われ方の原因になる可能性がある 学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット、携帯電話、ソーシャルメディアがどのように望まない性的扱われ方の原因になりうるのかを例示する（知識） ・インターネット、携帯電話、ソーシャルメディアで受ける望まない性的扱われ方に対抗する方法があることを認識する（態度） ・インターネット、携帯電話、ソーシャルメディアを使う際の安全を守るための計画を立て実行する（スキル） <p>キーアイデア 性的に露骨なメディアや画像は性的に刺激するもので、有害となる可能性がある 学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ性的に露骨なメディア（ポルノグラフィ）がこれほど広がっているのかを分析する（知識） ・性的に露骨なメディアがどのように有害になりうるか、またそれらの有害性をどこに報告し、助けを求めるとかをまとめる（知識） ・未成年者が性的に露骨な画像を送信する、受信する、購入する、または所持していることが違法となる場合があることを区別する（知識） ・性的に露骨な画像の共有や管理についての法律を知る重要性を認識する（態度） ・性的に露骨なメディアの使用について感じることを表現する（スキル）
<p>キ ー コ ン セ プ ト 5 健 康 と</p>	<p>5.1 性的行動における規範と仲間の影響</p> <p>キーアイデア 社会規範、ジェンダー規範、仲間の影響力は、性的な意思決定や行動に影響を与える可能性がある 学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー規範、社会規範を明らかにする（知識） ・社会規範、ジェンダー規範、仲間の影響力が性的な意思決定や行動にどのように影響するのかを説明する（知識） ・自分たちの性的な意思決定や行動は、ジェンダー規範、社会規範、仲間の影響力に影響されることを認識する（態度） ・お互いのために包摂的であること、支え合うこと、尊重し合うことをみんなで主張するさまざまな方法を実際にやってみる（スキル） <p>キーアイデア 仲間は性的な意思決定や行動に影響する可能性がある 学習者ができるようになること</p>

- ウ
ェ
ル
ビ
ー
ン
グ
の
た
め
の
ス
キ
ル
- ・仲間が性的な意思決定や行動に与えるポジティブな影響とネガティブな影響を比較対照する（知識）
- キーアイデア 性的な意思決定や行動におけるネガティブな仲間からの影響に対抗するためのさまざまな方策がある
- 学習者ができるようになること
- ・性的な意思決定や行動にネガティブな影響を与えるピアプレッシャーに直面したときに 自己主張することの意味を説明する（知識）
 - ・性的な意思決定や行動に対する仲間からのネガティブな影響に対抗することを強く求める（態度）
 - ・誰かがいじめられていたり、望まない性的な意思決定をさせられるようなプレッシャーに晒されているとき、声を上げて自分の主張をはっきりと示す（スキル）

5.2 意思決定

キーアイデア 性的行動に関する意思決定のプロセスには、可能性のあるポジティブ、ネガティブな結果をすべて考慮することが含まれる

学習者ができるようになること

- ・性的行動に関するさまざまな意思決定のポジティブな結果とネガティブな結果を見極める（知識）
- ・性的行動に関する意思決定が、人々の健康、未来、人生設計にどのように影響するのかを説明する（知識）
- ・性と生殖に関する健康に影響する意思決定のプロセスを適用する（スキル）

キーアイデア 性的行動に関する合理的な意思決定を難しくしうる要因がある

学習者ができるようになること

- ・性的行動に関する意思決定に影響しうるさまざまな感情を明らかにする（知識）
- ・性的行動に関する合理的な意思決定に、アルコールや薬物がどのように影響しうるかを説明する（知識）
- ・貧困、ジェンダーの不平等、暴力が、性的行動に関する意思決定に、どのように影響しうるかを説明する（知識）
- ・性的行動に関する人々の意思決定に影響する要因は多くあり、その要因の中には、自分でコントロールできないものがあることを理解する（態度）
- ・性にかかわる意思決定に影響を及ぼしうる感情を見極め、うまくコントロールするさまざまな方法を実際にやってみる（スキル）

5.3 コミュニケーション、拒絶、交渉のスキル

キーアイデア 良好なコミュニケーションは、個人、家族、学校、仕事、恋愛の関係において必須である

学習者ができるようになること

- ・個人、家族、学校、仕事、恋愛の関係における効果的なコミュニケーションの利点を列挙する（知識）
- ・お互いを否定する言語・非言語コミュニケーションの潜在的な意味について分析する（知識）
- ・恋愛関係にあるパートナーとの交渉において立ちほだかる可能性のある障壁（ジェンダー役割や、ジェンダーに基づいて期待されることを含む）を明らかにする（知識）
- ・恋愛関係にあるパートナーとの交渉や拒絶するスキルを使う際の自信をはっきりと示す（スキル）

5.4 メディアリテラシー、セクシュアリティ

キーアイデア セクシュアリティや性的関係について非現実的なイメージを描き出しているメディアもあり、それらは私たちのジェンダーや自尊心の捉え方に影響を与える可能性がある

学習者ができるようになること

- ・セクシュアリティや性的関係に関連するメディアの中の非現実的なイメージを明らかにし批評する

	<p>(知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーステレオタイプをつくり出すことにおける非現実的なイメージの影響について調べる (知識) ・理想とされる美やジェンダーステレオタイプにメディアが影響を及ぼしていることを認識する (態度) ・セクシュアリティや性的関係に関する非現実的なイメージが、自分たちのジェンダーや自尊心の捉え方にどれほど影響を与えうるのかを省察する (スキル) <p>5.5 援助と支援を見つける</p> <p>キーマイデア 質の高い情報やサービスにアクセスするために、援助や支援の拠点について、そのサービスや情報源も含め、見極めることは重要である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性と生殖に関する健康と権利問題に関する援助や支援の拠点を列挙する (知識) ・よい援助や支援の拠点の特徴 (秘密やプライバシーを守ることを含む) を説明する (知識) ・性と生殖に関する健康のためのサポートにアクセスできる場があることを理解する (カウンセリング、性感染症やHIVの検査と治療、また、現代的避妊法、性的虐待、レイプ、ドメスティックバイオレンス、ジェンダーに基づく暴力、中絶、中絶後のケア、スティグマ、差別に関するサービスなど) (知識) ・援助や支援についての信頼できる情報源 (ウェブサイトなど) の特徴を説明する (知識) ・援助や支援の拠点を注意深く見極めることの重要性に気づく (態度)
<p>キー コン セプト 6 人 間 の か ら だ と 発 達</p>	<p>6.1 性と生殖の解剖学と生理学</p> <p>キーマイデア 前期思春期や妊娠中は、成熟や生殖にかかわるさまざまなプロセスにホルモンが大きな影響を与える</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胎児の性別は染色体によって決定し、決定する時期は妊娠初期であることを説明する (知識) ・ホルモンは成長、発達、生殖器官と性機能を調節するための役割を果たしていることを説明する (知識) ・前期思春期や妊娠中において、ホルモンが果たす重要な役割を認識する (態度) <p>キーマイデア すべての文化において、セックス、ジェンダー、生殖への理解、いつ性的に活発になるべきかについての理解はさまざまである</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セックス、ジェンダー、生殖に関して、生物学的側面と社会的側面を区別する (知識) ・文化や宗教がどのようにセックス、ジェンダー、生殖に対する社会の見方に影響しているかを比較対照する (知識) ・セックス、ジェンダー、生殖について、文化的、宗教的、社会的、個人的な見方が異なることを認識する (態度) ・セックス、ジェンダー、生殖に対する自らの観点について省察し、はっきりと述べる (スキル) <p>6.2 生殖</p> <p>キーマイデア 生殖機能と性的感情には違いがあり、それらは時とともに変化する</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠は計画的にすることも、防ぐこともできると再認識する (知識) ・生殖機能と性的感情には違いがあることを理解する (知識) ・男性も女性も、性と生殖に関する機能や欲求は人生の中で変化することを認識する (態度) ・意図しない妊娠を今後どう防ぐかの計画を立てる (スキル)

6.3 前期思春期

キーマイデア 前期思春期は、身体的、感情的、社会的、認知的に大きな変化をもたらす性的に成熟する時期であり、それは思春期を通して、楽しみにもストレスにもなりうる

学習者ができるようになること

- ・前期思春期と思春期を区別する（知識）
- ・前期思春期は人によって異なる時期に現れるもので、その影響は男子と女子で違うことを再認識する（知識）
- ・思春期の間に起こるさまざまなタイプの変化の例を見極め、分類する（身体的、感情的、社会的、認知的など）（知識）
- ・これらの変化に関して、女子と男子との類似点と相違点について比較する（知識）
- ・子どもによっては、前期思春期はとても困難な時期になることを認識する。特にジェンダーアイデンティティが一般的ジェンダー規範に当てはまらない／当てはめられない、またはトランスジェンダー、インターセックスの子どもなどについて（知識）
- ・これらの身体的、感情的、社会的、認知的な変化は思春期には一般的なことであると認識する（態度）
- ・前期思春期に起こる変化を理由に他者をからかったり、辱めたり、スティグマを与えることは、相手を強く傷つけることであり、長期的な精神的な影響を与える可能性があることを認識する（態度）
- ・これらの変化にどのように対応していくかを実際にやってみる（スキル）

6.4 ボディイメージ

キーマイデア 自分のからだに対する感じ方は、その人の健康、セルフイメージ、行動に影響する

学習者ができるようになること

- ・自分のからだについてプラスの感情をもつことの利点を議論する（知識）
- ・人のからだの外見が、他者のその人に対する感じ方、行動にどう影響するかを説明し、またそれが男子の場合と女子の場合ではどう異なるのかを比較する（知識）
- ・自分の見た目を変えるために、一般的にされている方法（ダイエット薬、ステロイド、脱色クリームなどの使用）を分析し、それらの行為の危険性を見極める（知識）
- ・人々に自分の外見を変えたいと思わせる、ジェンダーに基づく美の基準を批判的に見極める（知識）・ボディイメージにかかわり、人々を苦しめているさまざまな疾患（不安障がい、拒食や過食のような摂食障がいなど）を説明する（知識）
- ・自分のボディイメージを変えるために薬物を使用することは有害になりうると気づく（態度）
- ・ボディイメージに関して苦しんでいる人をサポートするサービスにアクセスする方法をはっきりと示す（スキル）

7.1 セックス、セクシュアリティ、生涯にわたる性

キーマイデア 性的な気持ち、ファンタジー、欲望は自然なもので、一生を通して起きるものであるが、人は常にそれらの感情を実行に移すことを選択するわけではない

学習者ができるようになること

- ・自分のセクシュアリティを表現するさまざまな方法を列挙する（知識）
- ・性的な気持ち、ファンタジー、欲望は自然なもので、恥ずかしいものではなく、一生を通して起こるものであることを提示する（知識）
- ・すべての人が性的な気持ち、ファンタジー、欲望を実行に移す選択をするわけではない理由を説明する（知識）
- ・セックスへの興味は年齢により変化し、一生を通して表現できるということを提示する（知識）
- ・文化や状況を超えて、人がセクシュアリティを表現するさまざまな方法を尊重する重要性を的確に認識する（態度）
- ・性的な気持ち、ファンタジー、欲望に関する感情を上手に扱うさまざまな方法を実際にやってみる（スキル）

キ
コ
ン
セ
プ
ト
7
セ
ク
シ
ュ
ア
リ
テ

イ
と
性
的
行
動

7.2 性的行動、性的反応

キーアイデア 性的反応の周期とは、性的刺激に対するからだの生理的な反応の仕方に関するものである

学習者ができるようになること

- ・性的刺激は身体的、心理的側面を伴っており、人々はそれぞれ異なる方法や異なるタイミングでそれに反応するものであることを理解する（知識）
- ・性的反応は、病気、ストレス、性的虐待、薬物治療、薬物乱用、トラウマといった問題などによって影響を受ける可能性があることを認識する（態度）

キーアイデア あらゆる社会、文化、世代はそれぞれ性的行動に関する迷信をもっているため、事実を知ることが重要である

学習者ができるようになること

- ・性的行動に関する情報が入ってきたときに迷信と事実を区別する（知識）
- ・セクシュアリティに関する事実を知ることの重要性を的確に認識する（態度）
- ・性的行動に関する迷信に問題意識をもつ（スキル）

キーアイデア 性的行動に関して情報に基づいて決定できることは重要である

学習者ができるようになること

- ・情報に基づいて性的な意思決定をすること（性的に活発になるか、もしなるのなら、いつ、誰とすることについて決定する際に、情報を十分にもち自信をもっていること）は、その人の健康やウェルビーイング（幸福）にとって重要であることを認識する（態度）
- ・性的に活発になるという決定は個人的なものであり、時とともに変わる可能性があり、常に尊重されるべきであることを認識する（態度）
- ・自分の性的行為に関して責任ある決定をする（スキル）

キーアイデア 健康やウェルビーイング（幸福）にネガティブな影響を強く及ぼすような性的行動のリスクを避ける、もしくは最小限にするさまざまな方法がある

学習者ができるようになること

- ・性的行動にまつわるリスクを最小限にし、自分のライフプランを支えるための実行可能な選択について説明する（知識）
- ・コンドームやその他の避妊具は、性的行為による意図しない結果（HIV、性感染症、妊娠など）のリスクを低減することを説明する（知識）
- ・挿入行為のない性的行為は、意図しない妊娠のリスクがなく、また HIV を含む性感染症のリスクも低減し、よるこびのあるものになりうることを再認識する（知識）
- ・性的行動にまつわるリスクを最小限にし、ライフプランを実現するための選択肢があることを認識する（態度）
- ・自分の性的行動に関して、十分な情報を基にした選択をする（スキル）

キーアイデア 取引的な性的行為、金銭や物品と性的行為の交換は、自分の健康やウェルビーイング（幸福）を危険に晒す可能性がある

学習者ができるようになること

- ・取引的な性的行為とは何かを明らかにする（知識）
- ・取引的な性的行為と関連するリスクを説明する（知識）
- ・金銭や物品との取引を伴う性的関係は、脆弱性を高めうる不平等な力関係を増加させ、セーファーセックスを交渉する力を制限することを認識する（態度）
- ・取引的な性的行為を拒否するための、積極的なコミュニケーションや断り方のスキルをはっきりと示す（スキル）

キ コ ン セ プ ト 8 性 と 生 殖 に 関 す る 健 康	<p>8.1 妊娠、避妊</p> <p>キーアイデア 避妊法はそれぞれに異なる成功率、効能、副効用と副作用がある</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意図しない妊娠を防ぐ効果的な方法と、それぞれに関連した効能について分析する（男性用・女性用コンドーム、低用量ピル、注射、インプラント、緊急避妊薬など）（知識） <p>(注射とは避妊薬の注射を、インプラントとは避妊用インプラントを指す。日本では2021/12現在未認可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意図しない妊娠につながる個人の脆弱性について説明する（知識） ・正しく一貫して実行されれば、性交をしないことが意図しない妊娠を防ぐ効果的な方法になるということを明言する（知識） ・性的行動をとる場合は、コンドームと現代的避妊法を正しく一貫して使用することが、意図しない妊娠を防ぐことができることを明言する（知識） ・コンドームの正しい使い方ははっきりと示す（スキル） ・緊急避妊薬（合法かつ入手可能な場合）は、避妊具がなかったり、避妊具の使用を失敗したり、性被害にあったことによる妊娠を含む、意図しない妊娠を防ぐことができることを説明する（知識） ・伝統的避妊法は、現代的避妊法より信頼性がないが、現代的避妊法がない場合は伝統的避妊法でもしないよりはしたほうがよく、またそのような場合は健康の専門家に助言を求めるのがよいと思われるということを明言する（知識） ・不妊手術は永久的な避妊方法であることを明言する（知識） <p>キーアイデア 性的に活発で、避妊具の使用にメリットがある若者は、能力、婚姻状況、ジェンダー、ジェンダーアイデンティティ、性的指向にかかわらず、大きな障壁なしに避妊具にアクセス可能であるべきである</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンドームや他の避妊具がその地域では一般的にどこで入手できるのか、また一方で、若者による入手を何らかの障壁が困難にしている場合もあることを分析する（知識） ・性行為をしている若者は誰しも、婚姻状況やセックス、ジェンダーなどを理由に、避妊具やコンドームへのアクセスを拒否されることはあってはならないと認識する（態度） ・避妊具の情報源や供給源にアクセスするさまざまな方法を実際にやってみる（スキル） <p>キーアイデア 若すぎる出産や短すぎる出産間隔には健康上のリスクがある</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若すぎる出産の意味を明らかにし、それに付随する健康上のリスクを説明する（知識） ・出産間隔を空けることの利点を説明する（知識） ・妊娠を遅らせたり間隔を空けたりする重要性を認識する（態度） ・妊娠するかしないか、いつ妊娠するかについての選択を表明する（スキル） <p>8.2 HIVとAIDSのスティグマ、治療、ケア、サポート</p> <p>キーアイデア 適切なケア、尊重、サポートがあれば、HIVと共に生きる人たちは、差別のない、十分に豊かな人生を送ることができる</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HIVの状態を理由に人を差別することは違法だと結論づける（知識） ・生まれながらにHIVと共に生きている人がいること、治療とサポートがあれば十分に健康的で豊かな人生を送ることができることを認識する（態度） <p>キーアイデア HIVと共に生きる人も含め、誰もが結婚や長期的な関係を通して性的感情や愛を他者に表現する平等な権利を他の人と同様にもち、それを選択したいならできるべきである</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜHIVと共に生きる人も含めすべての人が他者に性的感情や愛を表現する権利があるのか根拠を示す（知識）
--	---

・ HIV と共に生きる人も含め、すべての人の、他者に性的感情や愛を表現する権利を支持する（態度）
キーマイデア HIV と共に生きる人たちによって、あるいはかれらと共に運営されるサポートグループやプログラムをサポートすることは、有益である

学習者ができるようになること

- ・ HIV と共に生きる人たちによって、あるいはかれらと共に運営されるサポートグループがどのように役立ちうるかを説明し、かれらの提供するサービスについて説明する（知識）
- ・ HIV と共に生きる人たちによって、あるいはかれらと共に運営されるサポートグループやプログラムが提供する援助を的確に認識する（態度）
- ・ 地域のサポートグループやプログラムにアクセスするさまざまな方法を実際にやってみる（スキル）

8.3 HIV を含む性感染症リスクの理解、認識、低減

キーマイデア クラミジア、淋病、梅毒、HIV、HPV などの性感染症は、予防、治療、管理が可能である

学習者ができるようになること

- ・ HIV を含む性感染症のさまざまな感染経路（性的行為、妊娠、分娩または母乳育児、ウイルスが混入した血液の輸血、注射器・針・その他鋭利な器具の共有など）を説明する（知識）
- ・ 挿入を伴う性交をしないことは、性的行為による HIV やその他の性感染症を防ぐのに最も効果的な方法であることを明言する（知識）
- ・ 性的に活発であっても、HIV や性感染症に感染するリスクを軽減する特定の方法があることを説明する。例えば、一貫した正しいコンドームの使用、挿入性交の回避、“お互いに決まった一人とのみ性的関係をもつこと”の実践、性的パートナーを減らす、同時に複数人との性的関係をもつことを避ける、性感染症の検査・治療を受けるなど（知識）
- ・ HIV や他の性感染症の、感染率の高い特定の場合においては、年齢差や世代差のある関係性が、HIV の脆弱性を高める可能性があることを説明する（知識）
- ・ セーフセックスのために交渉し、安全でない性的行為を拒否するさまざまなスキルをはっきりと示す（スキル）
- ・ 正しいコンドームの使用手順をはっきりと示す（スキル）

キーマイデア 性の健康に関するサービスは、HIV 検査、治療、コンドーム、一部では PrEP、PEP、VMMC（以下の注釈参照）を提供し、HIV 感染の脆弱性を見極め、必要な検査や治療へのアクセスを支援することができる

学習者ができるようになること

- ・ HIV 検査を受けるための保健システムへのアクセス方法や、HIV と共に生きる人々へのサポートを提供するさまざまなプログラムを調べる（知識）
- ・ 利用可能な HIV 検査の種類と、それらの検査がどのように行われるかを例示する（知識）
- ・ VMMC と、それがいかに男性の HIV 感染への脆弱性を減少しうるかについて説明する（知識）
- ・ もしその地域で入手可能であれば、HIV への曝露のおそれのある前後に、感染可能性を低減する方法としての PrEP と PEP について明らかにする（知識）
- ・ すべての人が、自発的に、十分な情報を基に、プライバシーを守られながら検査を受ける権利があり、また、HIV の状態を開示する必要がないことを明言する（知識）
- ・ HIV の感染のしやすさを見極めるために検査し、必要に応じて治療にアクセスすることの重要性を認識する（態度）
- ・ 検査を受けたい友人をサポートする方法をはっきりと示す（スキル）

以下の注釈は、ガイドスではなく厚労省検疫所のサイト FORTH HIV/AIDS について（ファクトシート）の <https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/2017/12221202.html> より引用

抗レトロウイルス薬を用いた予防

抗レトロウイルス療法（ART）の予防における恩恵

2011 年のある試験によれば、HIV 陽性患者が有効性のある抗レトロウイルス（ARV）薬の服用方法を遵守すれば、感染していない性交渉のパートナーに感染させるリスクを 96%下げられることが確認されました。抗レトロウイルス療法を全ての HIV 感染者に開始するとした WHO の勧告は HIV の感染伝播の減少に大きく貢献するでしょう。

*HIV 陰性のパートナーに対する暴露前予防(pre-exposure prophylaxis: PrEP)

HIV の経口暴露前予防(PrEP)は、HIV の感染を防ぐために HIV 非感染者が ARV 薬を日常的に使用することです。パートナーの片方が感染者、もう片方が非感染者 (Serodiscordant) の異性カップル、男性と性交渉をする男性、トランスジェンダーの女性、ハイリスクの異性カップル、薬物注射の使用などなどの集団において行われた 10 件以上のランダム化比較研究で、経口暴露前予防(PrEP)には HIV の感染伝播を減らす効果があることが実証されました。WHO は、予防方法の組み合わせの一環として、HIV 感染のリスクが高い人の予防法の選択肢として経口暴露前予防(PrEP)を推奨しています。WHO は、この勧告を HIV に感染していない妊娠女性や授乳中の女性に拡大しました。

*HIV に対する暴露後予防 (pre-exposure prophylaxis : PEP)

暴露後予防(post-exposure prophylaxis :PEP)とは、感染を予防するために HIV に暴露してから 72 時間以内に ARV 薬を使用することです。PEP には、カウンセリング、一次救急処置、HIV 検査のほか、28 日間の経過観察と ARV 薬の服用が含まれます。WHO は、職業上の暴露にも非職業上の暴露にも、そして成人の暴露にも子どもの暴露にも、暴露後予防(PEP)の使用を奨励しています。

男性の包皮環状切除 (VMMC)

男性の包皮環状切除は、男性における HIV の異性間感染のリスクを約 60%低下させます。これは、HIV の罹患率が高く、男性の包皮環状切除の実施率が低いアフリカの東部と南部の 15 か国で支援が行われている重要な予防的介入です。また、VMMC は、あまり医療支援サービスを受けない男性成人および青年男子に（予防対策を）届けるための良い手段ともみられています。

2007 年以降、WHO は新たな予防戦略としての VMMC を勧めており、アフリカの東部と南部の約 1,500 万の青少年男児および成人男性に、HIV 検査および安全性の高い性交渉とコンドーム使用方法についての教育など、一貫した支援が提供されました。

以下は、男性の包皮環状切除 (VMMC) について疑問視する「JASE 現代性教育ジャーナル No, 103」掲載文 https://www.jase.faje.or.jp/jigyo/journal/seikyoiku_journal_201910.pdf （紹介：本稿編集者）